

阿蘇地域の水中生物たち

～白川と黒川の水生生物の違い～

南阿蘇村立白水小学校6年 工藤瑠海



1. 研究の目的

ぼくは、いつも魚とりをしたり、図鑑を読んでいます。魚とりはよく白川と阿蘇市川に行きますが、いつも思うのが「白川と阿蘇市川では、とれる魚が違う」ということです。南阿蘇側へ川には魚の種類が少ないのに、阿蘇市側の川には多いのが疑問です。同じ阿蘇地域なのにどうして違うのかを知りたいと思った。

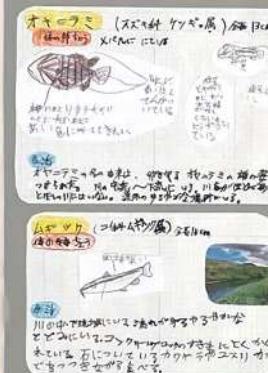
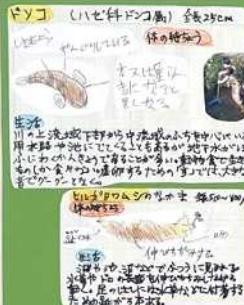
2. 研究の予想と調査方法

予想

- 1月に阿蘇地域で水質が違うと感じた。
- 2. 水質は阿蘇市側の方が少しよさげだと思った。
- 3. プランクトンや虫の幼虫の数や種類が違うと思う。
- 1.2の理由により、生きる魚の種類が違うと考える。
- 3で、阿蘇市側の方でたくさんのプランクトンや虫の幼虫が多いと思う。

3. 研究の結果

とれた 白川 黒川 白川 黒川
魚や水など



4. 研究の考察

予想 3+4

予想 1,2+	
白川	黒川
COD 3~6mg/L	5~9mg/L
pH 6~7	6.5~7.5
温度 15度~17度	16度~18度
にあり	にあり

予想通り、水質は違う。
そして、黒川支流の方で多く見られた。
特に COD に違いがあった。

予想 3+4	
白川	黒川
ジラハヤ	○ ○
コオニクモ	○ ○
オニソウ	○ ○
アマメ	○ ○
カワムツ	× ○
メダカ	○ ○
コメダカ	○ ○
メダカ	○ ○
コメダカ	○ ○
ブリ	○ ○
ブリ	○ ○
オオタカ	○ ○
オオタカ	○ ○
オニシロ	○ ○
ヒメタカ	○ ○
ヒメタカ	○ ○

・プランクトンや虫の幼生の種類はオオタカオオタカ、オニシロ、サカニヒルガワムシなどから変化した。
・オオタカは白川支流にいた。
・ケンミンコは黒川支流にいた。
・このように、水質が水質限界は平原となり、アシコリニシロや虫の幼生は黒川支流の方に種類が多くなった。

・オニタカミギソク、オカツカは流れが豊かな水源で多くいるが、黒川支流にはいなかった。白川支流にはいなかった。
・そして、オカツカ、カツカは少し黒川支流に住む生物なので、白川支流ではいなかった。
・オオタカは、水質が少し悪くなって白川支流に移動した。
・カツカは、水質が少し悪くなつて白川支流に移動した。

5. 研究の感想

- 本当に白川と黒川(支流)で調査したかったが、黒川には下りる場所を見つけられなかつたのが残念だ。
- 雨が続いたり、調査場所が工事だったりして計画通りにできなかつたのがくやしかった。
- 黒川支流は、ちとプランクトンや虫の幼虫がたくさんいるだけに、とても少なかったのはびっくり。
- やはり白川は水源がたくさんあるから、水がきれいすぎる。種類が少ないのもしねない。
- 今日の調査では、ぼくの疑問ははっきり解消できなかつた。
- ぼくは、海や川の生物が好きで、将来の夢は海洋生物学者になることだ。これからもいろんな場所で調査を続けたい。

